

アイベックを指定

中小企業経営モデルに 県庁で交付式

富山県は24日、2022年度中小企業経営モデル企業として、非破壊検査業のアイベック(富山市中田、東出悦子代表取締役)を選



記念撮影する中谷部長と東出社長(右)

定し、指定書を交付し、経営革新などの実績がある企業をモデル企業として指定し、他の中小企業に経営実例を示すことに

より経営意欲の喚起を図るもの。今回で31回目。県庁で行われた交付式では、中谷仁商工労働部長が東出社長に指定書を手渡し、「時勢に合った企業として、県内中小企業のDX推進に向け、交流などを進めていただきたい」と述べた。東出社長は、「社員一人ひとりが主体的に自主性をもってお客様の満足を得るようなサービスの提供に

努めている」と説明した。同社は、主力事業の構造物検査サービスにおいて、調査診断結果を踏まえた補修工事の設計を追加提案するなど、関連事業領域に進出する体制を構築。クラウドを活用した社会インフラのモニタリングサービス、AI画像分析による交通量調査などのDXの取り組みが進んでいるほか、リモート会議やペーパーレス化、健康経営を実践している。